

平成29年度「留辺薬まちづくり協議会」(第4回)会議録要旨

◎ 日時	開催日時	平成29年7月20日(木)	9:30~10:41
◎ 場所	視察研修バス内		
◎ 出席者	協議会:	11名(横田会長、稲村副会長、荒委員、石田委員、菊池委員、坂口委員、高野委員、武田委員、立垣委員、野瀬委員、古川委員)	
	北見市:	五十嵐自治区長 安井留辺薬教育事務所長	
	事務局:	飯塚留辺薬総合支所長 奥原留辺薬総合支所 総務課長 今野留辺薬総合支所 総務課地域振興係長 村田留辺薬総合支所 総務課地域振興係	
	傍聴者:	無し	

開 会

事務局

開 会 (9:30)

(総務課長)

皆さま、あらためましておはようございます。本日は視察研修ということで、第4回留辺薬まちづくり協議会をバス内にて開催させていただきます。

なお、ご案内させていただきました議題にはありませんけども、今後のスケジュールの関係から、本年度の留辺薬まちづくり協議会に対します「諮問」を行わせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、横田会長から、ご挨拶をいただきます。

横田会長

おはようございます。変則的ではありますが、こういうまち協というのもいかなと自分なりに思っております。

7月14日、15日留辺薬高校学校際に沢山の皆さんにお出でをいただいて、校長以下皆さん大変喜んでおりました。人数的には100名を切っていたんですけども、暑い日だったのですが、取り敢えず何事もなく終えることが出来ました。これも皆さん方が声かけをしていただいたお陰だというふうに思います。

今日は諮問ということですが、これからの事業について、皆さん方といろいろと議論をしていきたいなというふうに思います。

帰りについては、武田委員のご要望に承えて、駅通(留辺薬町開拓資料館)も見させていただくことになっておりますので、時間的にはあまり長い時間ではありま

せんが、今日一日よろしくお願ひします。

事務局  
(総務課長)                      これからの進行は、横田会長にお願いいたします。

横田会長                              それでは、五十嵐自治区長からご挨拶をいただきます。

五十嵐自治区長                      あらためまして、おはようございます。

16日の日曜日に、皆さんご存知のように、大雨が降りました。たまたま13時から、留辺薬消防団ほか、2つの消防団の合同の演習がありましたが、私は10分前ぐらいに行ったんですが、着いた途端に、今日は中止しますということで。それから、ものすごい雨が降りまして、大和のアメダスで、13時から14時の間で29mm、留辺薬にある簡易雨量計というのがあるのですが、その簡易雨量計で、44mmという大変な雨が降りまして、多分、間に雨量計はないんですが、温根湯も相当降ったんじゃないかなと思います。

結果といたしまして、道路の法面崩壊ですとか、道路一部崩壊が5か所。通行止めが、平里の20号線から入った所に橋があるんですけど、橋のたもととといいますか、端が崩れて、橋を渡るのが危ない状態になって通行止め。

それから、今、見えるかもしれませんが、温根湯の18号が去年台風災害で道路が崩壊した所なんですけども、そこが再び崩壊しまして、その2か所が通行止めになっております。最近の天候を見ていると、東京ですごい雷が降ったり、九州、静岡、新潟で大雨が続いたり。集中豪雨で雨雲が動かないというか、次から次とやってくるような状態で、異常気象が最近多くなってきています。

昨年台風がきた訳ですけども、今年も台風が来るかなということで、総合支所では、万全の態勢で今やっているところでございますが、地域の皆さんにご協力を得ながら対応していかなければならないと思っているところでございます。

本日は、会長からもお話があったとおり、市長からまちづくり協議会会長に対し、「留辺薬自治区内事業の今後のあり方について」ということで、諮問をさせていただきます。答申は、10月の中ぐらいだと思いますが、よろしくご協力をお願いしたいと思います。

## 報 告

### 【 会議の成立について 】

横田会長                              それでは、会議に先立ちまして、皆様方に事務局から会議の成立について報告をしていただきます。

事務局  
(地域振興係長)                      本日の出席委員数は、15名中11名となっております。北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

なお、千田委員、山梨委員、大江委員、山久委員につきましては、所用により欠席



例年ですと11月ですが、それが、1か月早まったために、こういう形しかとれないということでもあります。

答申については、10月15日前後ぐらいになるんじゃないかなというふうに思っておりますので、皆さん方には、忙しい時期ではありますけど、是非、まちづくり協議会の会議を優先的にスケジュールの中に入れていただければと思います。

#### 質疑・意見

横田会長                      この件について、何かご質問、ご意見等ありますか。

「 な し 」の声あり

横田会長                      今後については、資料が出されてから皆さんと相談をしていきたいと思いますが、皆さんの方からも、是非、ハード事業だけではなく、ソフト事業についても、ご提案をしていただければと思います。

#### 議 題

#### 【 （1）北見市の教育施策について 】

横田会長                      それでは、次第の『3. 議題等』に入ります。皆さんのお手元に配られていると思いますが、北見市の教育施策について事務局の方から説明をお願いしたいと思います。

事務局    「 地域振興係長 説明 」  
（地域振興係長）

#### 質疑・意見

横田会長                      今、説明を受けましたが、資料を見ていただいた方がより分かりやすいかもしれません。全体的にいろいろと細かく書かれておりますので、ご自宅にお帰りになってからゆっくり見ていただきたいなと思います。

因みに留辺蘂自治区の場合、児童の減少が著しいということもありまして、3年前に、中央教育審議会から小中一貫校ということで、答申がなされておまして、これは素案なんですけど、一体型と分離型の2種類が示されたところでございます。

今、財務省では、児童の減少に伴い、教員を全国で1万4千人減少させるということもあって、文部科学省も大変な状況になっているようです。

そのことを受けて、オホーツク管内においても、統廃合が実施されるということが示されており、管内では89校が要検討ということになっておまして、現在、小学校は26校ありますが、近いうちに14校になり、12校が減ると。中学校は15校ですが、これが5つに統合されるというふうなことが、もう既に文部科学省で改定した公立小中学校の統廃合に関する手引きの中でうたわれているというこ

とです。

北見市の教育委員会が、2023年度までに児童数が343人減るという見込みだとの報道が出されておりまして、北見では、小学校が2017年で5,125人ですけれども、2023年で4,933人、中学校15校で2,863人が2,712人というふうなことが示されています。

いずれにしても、児童数の減少というのは避けて通れませんので、これからの教育行政全体をどうあるべきかということの議論は絶対必要だと思います。

皆さん方から、今、説明がありましたことを含めて、ご意見等がありましたら、お願いします。

## 質疑・意見

荒委員

今、担当の方から説明を聞きましたが、具体的なことがもっと分かった方が良いと思いますので、昨日、北見市の教育委員会の中の指導室の責任者だと思いますが、そこに電話をしまして、20日に東川に視察に行くのですが、北見の状況はどうなっているのか教えてほしいと、いくつか聞いてみました。

今の説明を補足する意味で聞いてください。私の個人的な視点は一切入れていません。

まず、「生きる力」云々ということが、北見の教育大綱の中でもうたわれていますが、それについては、知・心・体すべての部分を大事にしていく考えである、ということでした。

学力の関係ですが、基本は授業だと思っていると。ですから、先生方の授業の力をつけることで、今話があったようなことをすべて、昨年からは授業で取り組んでいると。それで、授業に詳しい専門家を呼んで、授業のやり方だとか、指導の改善を、学校でも教員の授業の研修をどんどんやるようなことを進めているんだというように話をされていました。

なかなか授業だけでは、子ども達が十分力がつかない、つけられないという部分もありますので、補習授業という形の表現になるのですが、どんな形でやっているんですかと聞いてみたところ、特に、夏休みや冬休みに希望者を対象に実施しているとのことでした。

それから、先ほどお話のありました、実物投影機については、小学校全部に入れたいというような話でした。

授業をやっていく中で、すごく理解の早い子と、時間がかかる子がいますので、チームティーチングということで、略してTTと言いますが、北見市はどうなっているのかと聞いたところ、定数は決まっているが、その基準を超えて2名余分に配置してもらっている。

だけど、道の予算が厳しいものだから、それは減らされてきているが、何とかプラス2名を維持していきたいと。

それから、支援講師ということで、私も南中で2年間経験があるんですが、私がやっていた8年ぐらい前の10名と変わっていないということで、どうなのと聞いて

たら、市の財政も厳しいのでという話でした。

今1番大変なのは、発達障がいの特別支援教育がより大変なんだということで、十数年前と比べると、特別支援の対象になる子ども達の数が増えているということで、指導する先生方はどうなっているんだということなんですが、免許を持っている方はなるべく各学校を回ってくれということで進めているが、無免許の形でやらざるを得ない。免許をもった先生は増えてきているが、と言っていました。免許を持っていない先生方も、免許をとるように今勧めていると。希望の方も増えてきているとのことでした。

それから、特別支援学級は支援員という形の人配置されることが、今のところ北見で70名だそうです。年に2回、先生の研修で支援をしてもらわないと、2次傷害もおこしますので、そういう形でやっているんだということで話をしていました。

いじめについては、3年前だったと思いますが、コーディネーターを配置してやっているんだけど、以前は、スクールソーシャルワーカーが5名配置になっていたんです。8年ぐらい前は2名でした。今は5名に増えたということで、学校を訪問したり、電話での相談があるということでした。

電話は保護者からの相談が多いようです。

それから、なかなか学校に行けない子に対しては、青空学級というのが設置されているんですが、そういうことの授業もどんどん進めているということで話を聞きました。

全部の学校で教育相談を充実させているが、いじめの相談も含めて定期的にやるようにしていると。何回ということは聞いていませんが。

ただ、問題なのは、先生方が非常に忙しい。子どもと係わるかというのがすごく大事だと思っているので、なんとか時間をつくりながら係わってほしいということで、指導室ではやっている。

それから、開かれた学校ということで、1日参観日というのをやっているの、是非、地域の方に来てもらいたい。

また、「学校だより」を出すなど、そういう体制で大丈夫とは思いますが、決して十分だと思っていない。1番良いのは、校長先生や教頭先生などが、いろいろな集まりに出向いて行って、学校の様子はこうなんだと。そういうことを話してくれるのが1番いいのかもしれないなど、その様なことを言っていました。これは私の思いですという話でした。

それから、今後、何を大事にしていくかということ聞いたところ、小学校のいろいろな行事の目的を踏まえながら、子ども達でよく話し合っ、自分達で作りあげるということを大事にしていけないと駄目だと。そして、そういうことを大事にするように、指導しましょうという話でした。

それから、いろいろな問題を先生方が個人で抱えるんじゃなくて、共通の話題として、お互い理解し合い、情報を共有して、チームとして取り組んでいくことが1番理想だと。そういう形の取り組みを事務局に指導させてますという話でした。

稲村副会長

この資料の説明の中で、特に気になる2点だけ質問をさせていただきます。無理でしたら、後で結構です。

1つ目は、ご存知のとおり、働き方改革の関係、先ほどの説明でもありました指導員の削減、方針の結果が出ていますよね。

現実問題として、教職員の勤務時間はかなり過重だということは、考えて欲しいと。現実に私の家の前が、教職員の住宅なものですから、出勤する時間、帰って来る時間は何となく分かるんです。

先生方は、帰って来る時間は遅いし、部活している先生方は土曜、日曜関係なしで出ているというのは現実な訳ですよね。

そういうことは、既に検討されていると思いますが、予算がないので、教職員を増やせないから厳しいと。

無理であれば、一般社会人が、例えば部活動等で、支援、応援をするということは北見市はやっているという話を聞いたことがないので、今後の方針も含めてどうなのか、検討する予定があるのか、ないのか。やるとしたら、どんなことを考えているのか。是非、活用すべきだと思っているので。これが1点です。

もう1点は、学校の統廃合の関係です。これまでの知っている範囲では、何もしない。具体的な話はありませんし、検討はしているでしょうけど。見直しせざるを得ない時期にきていることは間違いないと。

面接試験においても、現実に考えると、単に経済的な効果ばかりじゃなく、教育的効果も含めて、そう遠くないうちにやらざるを得ないだろうと。なかなか微妙な問題なんですけれども、北見市の小中学校の今後の利用方針について検討をされているのかどうか、この2点です。

安井教育事務所長

おはようございます。

先ほどお話のあった、一般社会人の部活動の指導者の活用については、私の方では把握していないので、調べまして後日ご報告させていただきたいと思います。

統廃合の件については、留辺蘂の中でも温根湯地区が非常に感心のある問題だというふうに認識しているところです。温根湯小学校と温根湯中学校のPTAで協議会をつくりまして、今後の学校のあり方についてどうしたらいいかということの話し合いを始めたところです。

今まで協議を2回ほどさせていただいて、今、一般のPTAの方々の意向を調査しているところで、これから結論が出てくるのではないかなと思っています。

あくまでも、市の方から強制的に統合しろとかではなくて、地域としてまちづくりも含めて、どういうふうに考えるのかということが大事だと思っていますので、地域の方とPTAの方とも十分協議をして結論を出した後は、自治会連合会であったりとか、これから、小学校、中学校に入学されるお子さんを持つ父兄の皆さんや、保育所や幼稚園に通われているお子さんの父兄の方々のご意向等も含めて、統廃合をどうするかということを考えていきたいなというふうに考えております。

荒委員

先ほど、部活動の一般社会人の応援等のお話がありましたが、今は少年団が多いのですが、地域の人に指導をしてもらってということが少しずつ留辺蘂の中でも増えているのは事実です。

例えば、留辺蘂中学校では、テニスとか、弓道とか、これは少なくとも外部の方の指導を受けて、それを少年団だけ、中体連の出場を認めると。私も温根湯中学校にいた時に、弓道に係わっていて、少年団という扱いで、実質部活として学校の中で認めてもらって、指導は留辺蘂弓道会にお願いをしていました。

今、姪が被災地でない学校の交流事業として、北見北中学校に来ています。バレ一部の顧問をやっていますが、2年間で来年の3月で戻るんですけど、土曜、日曜はほとんどいません。

私は会ったことはほとんどないです。という現実があるため稲村さんが指摘されたことはよく分かります。

菊池委員

安井教育事務所長にお聞きしたいんですが、今、40人学級ということを知っているんですけど、先生方の責任が大きい。現実、何人学級だったら1番理想的な教育環境かをお聞きしたいのですが。

今までは、先生方は大変なんだという話しか聞かないが、生徒数が何人だったら目が届いて、通常の活動が出来るかということは、この中では誰も知らないのではないか。

安井教育事務所長

小学校1年生が30人、それ以上は35人というお話のようですが、学校の先生といろいろお話をさせていただく機会が最近多いので、お話を伺うと、私達の時代ぐらいの時は40人以上で、全然名前も覚えられない人もいたんじゃないかなというぐらいの人数がいたんですけど、今は、留辺蘂も人数が少ないので、良く目が行き届く中で授業が行われているようです。

温根湯小中学校の先生方のお話を聞くと、小規模であればあるほど、一人ひとりが輝けるというんでしょうか、一人ひとりに目が行き届くし、一人ひとりが自分の意思を主張できるという機会に恵まれるようです。

ただ、人数が少ないということで、とても良い面もあるようですが、多いことで、それぞれ競争して切磋琢磨していくということも反面あるみたいなので、どちらがよいというふうには一概には言えないと、皆一様に言っております。

いずれにしても、それぞれ特色を活かした教育が出来ればよいのかなというふうには私は思っております。

荒委員

北見の教育委員会の管理の方に直接、私も菊池さんと同じことを聞かれました。

私は、大体15名から20名ぐらいがやりやすかったよと。私は主に数学の授業をやっていましたから、それぐらいの範囲だったら、一人ひとりの分からないことや疑問には答えられる、と答えました。

先進国の中で、日本の様な生徒数は珍しい訳ですよ。少ない人数に減らしてやっているのが当たり前ですから、私はそういったことを参考にしながら、考えてほ



しいなという希望はあります。

財務省は40から45に戻していいようなことを言っているということを聞いていますので、これは、予算のことだけを考えるんじゃなくて、人を育てることが国にとって大事なことなんだよということを私は思っています。

横田会長

今、皆さん方からご質問をいただきました。

まち協でやれるこれからの議論についていいますと、過去まち協でいろいろと教育事務所の関係について、前の副会長であった笠原さんやいろいろな方が、教育事務所のあり方について議論していただいておりますが、そのままになっております。

これからは少なくとも、今、菊池さんからお話があったように、少人数の学校については、チームティーチングの問題もありまして、これから進め方が難しくなってくるということも確かですから、そういう意味では、教育事務所のあり方を含めて、留辺蘂の中にある小中学校すべてのことについて、皆さんと続けて議論ができればいいかなと思っております。

本日の議題については、全て終了をさせていただきたいと思えます。

事務局  
(地域振興係長)

先ほどもご説明しましたが、8月から9月の2か月間で計4回程度のまち協を開催させていただく予定です。

スケジュールとして、日時を入れた資料を添付してはいますが、あくまでも案ということで押さえておいていただいて、近くなりましたら、正式にご案内させていただく予定でございますので、よろしくお願いいたします。

閉 会

横田会長

皆さんの所に、今後のスケジュール表が、8月、9月示されていると思います。これは決定ではありませんけど、そういう日程ですすめたいということですので、頭の中に入れておいていただきたいなと思います。

たまたま総合計画の審議会が9月1日にまた行われるんですけども、その時までにもし、今回の事業の問題も含めて、総合計画に加えてほしい報告等があったら、私のところまたは、総務課でもいいですから、示していただければいいかなと思います。

それでは、これをもちまして、第4回まちづくり協議会を終了させていただきます。

以上のとおり、まちづくり協議会（第4回）を終了した。

( 10:43 終了 )